

平成21年度
生物多様性
モデル事業

事業名：市民の協力による「蛍の郷」の保全活動と地域活性化事業
団体名：特定非営利活動法人食農ネットワーク

☆ 目的

里山の自然を保全する意識を醸成する取り組みとして、里山サンクチュアリの設定、市民参加による里山整備や市民向けの自然観察会の実施など、地域の自然環境を保全する活動を通じて、多くの市民の参加による生物多様性の保全・再生と地域活性化を目的とする。

☆ 内容

1. 里山サンクチュアリの設定

館山市神余地区において、メダカ、アオガエル、ゲンジボタル、ハイケボタルなどの里山の豊かな生物が確認できるエリアを、観光、農業などによる生育環境の荒廃から防ぐ為、地域との話し合いを重ねることで、里山自然環境保護エリアとして指定した。

2. 里山の自然を保全する意識を醸成する取り組み

里山の適正な整備が、貴重な生物の多様性の保全・再生には重要であり、国土保全にとっても極めて有効であることを、市民や地元の農業者と共に里山の間伐などの整備作業を通じて体感する取り組みを行った。

また、自然観察が行える公開エリアを整備（保護エリア外）し、豊かな里山の自然環境を保全する意識を醸成するため、カブトムシの生態観察などを行った。

☆ 今後

館山市神余地区で実施した、地域の自然環境の保全活動と自然環境に親しむイベント事業を、他のエリアへ広げて実施したいと考えている。



☆ 団体概要

農山村地域における国土保全と地域コミュニティ再生を目的に、様々な地域課題に対し、移住定住支援、耕作放棄地の保全、教育ファーム、里山の管理、鳥獣害対策等の各種取組を、行政などの支援を得ながら、地域住民と都市住民との連携により実施している。

☆ 問い合わせ

◎千葉県庁の関連事業

「千葉の里山・森づくり広域推進事業」
協働型地域づくり総合補助金「戦略プラン策定事業」
「里山エコタウン・里山モデル住宅の整備構想提案事業」
「里山エコタウン・里山モデル住宅の条件別整備手法等調査事業」

◎（社）国土緑化推進機構「緑と水の森林基金」
「森の恵みの福祉活用と里山森林ユニバーサルツーリズム事業」

◎（財）日本木材総合情報センター
「NPO法人等地域材利用推進普及活動」

◎農林水産省
農村景観・自然環境保全再生パイロット事業

☆ 主な活動

住所：〒294-0045 館山市北条1 6 3 3 - 2（房総里山農学校）

電話：0470-28-0027 Fax：020-4663-2687

Mail：cab75770@pop02.odn.ne.jp

URL：http://kanamari.com

代表者：三輪徳尋